

## 「平成26年(2014年) 貯蓄・負債の概況」

### 貯蓄の状況

1 概要 .....	4
(1) 二人以上の世帯の貯蓄現在高は1798万円で、前年に比べ59万円、3.4%の増加 .....	4
(2) 貯蓄現在高が100万円未満の世帯の割合は10.3% .....	4
2 貯蓄の種類別内訳 .....	7
(1) 二人以上の世帯の有価証券は2年連続の増加 .....	7
(2) 貯蓄現在高が3000万円以上の世帯の有価証券の割合は約2割 .....	10

### 負債の状況

1 概要 .....	12
二人以上の世帯の負債現在高は509万円で、前年に比べ10万円、2.0%の増加 .....	12
2 負債の種類別内訳 .....	15
二人以上の世帯の住宅・土地のための負債は458万円で、前年に比べ10万円、2.2%の増加 ..	15

### 世帯属性別にみた貯蓄・負債の状況

1 二人以上の世帯の世帯主の年齢階級別の状況 .....	16
(1) 貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い傾向 .....	16
(2) 負債保有世帯のうち負債超過額が最も多いのは世帯主が40歳未満の世帯 .....	19
2 勤労者世帯の年間収入五分位階級別の状況 .....	22
貯蓄現在高は年間収入が高くなるほど多い .....	22
3 勤労者世帯のうち持家世帯の状況 .....	27
(1) 持家世帯のうち住宅ローン返済世帯の負債現在高は1677万円 .....	27
(2) 持家世帯のうち住宅の建築時期が「2005～2009年」及び「2010～2014年」の世帯は 負債現在高が貯蓄現在高を上回っている .....	29
4 高齢者世帯の状況 .....	30
(1) 世帯主が60歳以上の世帯では貯蓄現在高が2500万円以上の世帯が約3分の1を占める ..	30
(2) 世帯主が60歳以上で無職の世帯の定期性預貯金は1113万円で、前年に比べ28万円、 2.6%の増加 .....	31

<参考>

長期時系列

<二人以上の世帯の貯蓄の推移>

貯蓄現在高の年間収入に対する比は約半世紀の間に4.2倍に上昇 .....

図 表 目 次  
([ ] 内は詳細結果表の番号)

表 1 貯蓄現在高の推移 .....	5
[ 8 - 1表 , 8 - 30表 ]	
図 1 貯蓄現在高階級別世帯分布 .....	6
[ 8 - 1表 , 8 - 30表 ]	
表 2 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移 .....	8
[ 8 - 1表 ]	
図 2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移 .....	9
[ 8 - 1表 ]	
表 3 貯蓄現在高階級 , 貯蓄の種類別貯蓄現在高 (二人以上の世帯) .....	10
[ 8 - 11表 ]	
図 3 貯蓄現在高階級 , 貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比 (二人以上の世帯) .....	11
[ 8 - 11表 ]	
表 4 負債現在高 , 負債保有世帯の負債現在高の推移 .....	13
[ 8 - 1表 , 8 - 22表 , 8 - 31表 ]	
図 4 負債現在高階級別世帯分布 .....	14
[ 8 - 1表 , 8 - 31表 ]	
表 5 負債の種類別負債現在高 .....	15
[ 8 - 1表 , 8 - 31表 ]	
図 5 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高 , 負債保有世帯の割合 (二人以上の世帯) .....	16
[ 8 - 5表 , 8 - 10表 , 8 - 24表 ]	
表 6 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移 (二人以上の世帯) .....	17
[ 8 - 5表 , 8 - 10表 , 8 - 24表 ]	
図 6 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯のうち負債保有世帯) .....	19
[ 8 - 24表 ]	
表 7 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移 (二人以上の世帯のうち負債保有世帯) .....	20
[ 8 - 24表 ]	
図 7 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯) .....	23
[ 8 - 3表 ]	
図 8 年間収入五分位階級 , 貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯) .....	23
[ 8 - 3表 ]	
表 8 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高の推移 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯) .....	24
[ 8 - 3表 , 8 - 4表 ]	
表 9 年間収入五分位階級 , 貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯) .....	26
[ 8 - 3表 ]	
図 9 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯) .....	27
[ 8 - 6表 ]	

表10 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）	28
[ 8 - 6表 ]	
図10 持家世帯の住宅の建築時期別貯蓄・負債現在高（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）	29
[ 8 - 21表 ]	
表11 持家世帯の住宅の建築時期別貯蓄・負債現在高（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）	29
[ 8 - 21表 ]	
図11 世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）	30
[ 8 - 10表 , 8 - 30表 ]	
表12 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯）	30
[ 8 - 1表 , 8 - 10表 , 8 - 30表 ]	
図12 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）	31
[ 8 - 10表 ]	
表13 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）	32
[ 8 - 10表 ]	

## 貯蓄の状況

### 1 概要

(1) 二人以上の世帯の貯蓄現在高は1798万円で、前年に比べ59万円、3.4%の増加

二人以上世帯における2014年平均の1世帯当たり貯蓄現在高（平均値）は、1798万円で、前年に比べ59万円、3.4%の増加となり、直接比較可能な2002年以降で最高となった。貯蓄保有世帯全体を二分する中央値は1052万円（前年1023万円）となった。また、年間収入は614万円で、前年に比べ2万円、0.3%の減少となり、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は292.8%で、前年に比べ10.5ポイントの上昇となった。

このうち勤労者世帯（二人以上の世帯に占める割合51.5%）についてみると、貯蓄現在高の平均値は1290万円で、前年に比べ46万円、3.7%の増加となり、貯蓄保有世帯の中央値は741万円（前年735万円）となった。二人以上の世帯全体と比べると、平均値、貯蓄保有世帯の中央値共に低くなっている。また、年間収入は702万円で、前年に比べ6万円、0.8%の減少となり、貯蓄年収比は183.8%で前年に比べ8.1ポイントの上昇となった。

（表1、図1）

(2) 貯蓄現在高が100万円未満の世帯の割合は10.3%

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、平均値（1798万円）を下回る世帯が67.6%（前年68.0%）と約3分の2を占め、世帯分布は貯蓄現在高の低い階級に偏っている。貯蓄現在高が最も少ない100万円未満の階級が、二人以上の世帯に占める割合は10.3%となっており、前年（10.0%）に比べ0.3ポイントの上昇となった。

このうち勤労者世帯についてみると、100万円未満の階級が勤労者世帯に占める割合は12.4%で、前年（12.0%）に比べ0.4ポイントの上昇となった。

（図1）

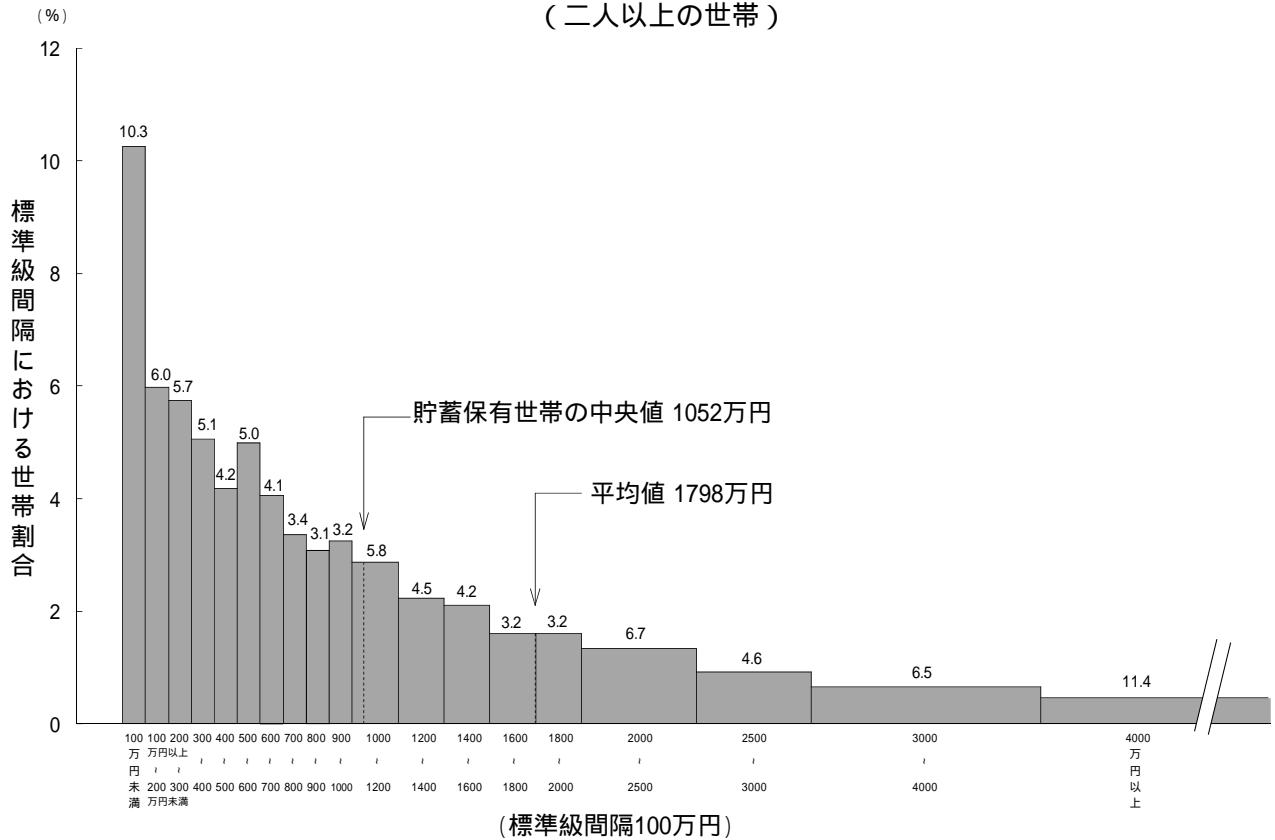
表1 貯蓄現在高の推移

年 次	貯蓄現在高 (1) (万円)	年間収入 (2) (万円)	対前年増減率			貯蓄年収比 (1)/(2) (%)	貯蓄保有世帯の中央値 (万円)
			貯 蓄 現 在 高	年 収 入	増 減 率		
<b>二人以上の世帯</b>							
2002年	1688	683	-	-	-	247.1	1022
2003	1690	660	0.1	-3.4	-3.4	256.1	1027
2004	1692	650	0.1	-1.5	-1.5	260.3	1024
2005	1728	645	2.1	-0.8	-0.8	267.9	1052
2006	1722	645	-0.3	0.0	0.0	267.0	1008
2007	1719	649	-0.2	0.6	0.6	264.9	1018
2008	1680	637	-2.3	-1.8	-1.8	263.7	995
2009	1638	630	-2.5	-1.1	-1.1	260.0	988
2010	1657	616	1.2	-2.2	-2.2	269.0	995
2011	1664	612	0.4	-0.6	-0.6	271.9	991
2012	1658	606	-0.4	-1.0	-1.0	273.6	1001
2013	1739	616	4.9	1.7	1.7	282.3	1023
2014	1798	614	3.4	-0.3	-0.3	292.8	1052
<b>二人以上の世帯 のうち勤労者世帯</b>							
2002年	1280	748	-	-	-	171.1	817
2003	1292	721	0.9	-3.6	-3.6	179.2	808
2004	1273	730	-1.5	1.2	1.2	174.4	805
2005	1292	719	1.5	-1.5	-1.5	179.7	807
2006	1264	713	-2.2	-0.8	-0.8	177.3	772
2007	1268	718	0.3	0.7	0.7	176.6	783
2008	1250	717	-1.4	-0.1	-0.1	174.3	757
2009	1203	709	-3.8	-1.1	-1.1	169.7	754
2010	1244	697	3.4	-1.7	-1.7	178.5	743
2011	1233	689	-0.9	-1.1	-1.1	179.0	729
2012	1233	691	0.0	0.3	0.3	178.4	757
2013	1244	708	0.9	2.5	2.5	175.7	735
2014	1290	702	3.7	-0.8	-0.8	183.8	741

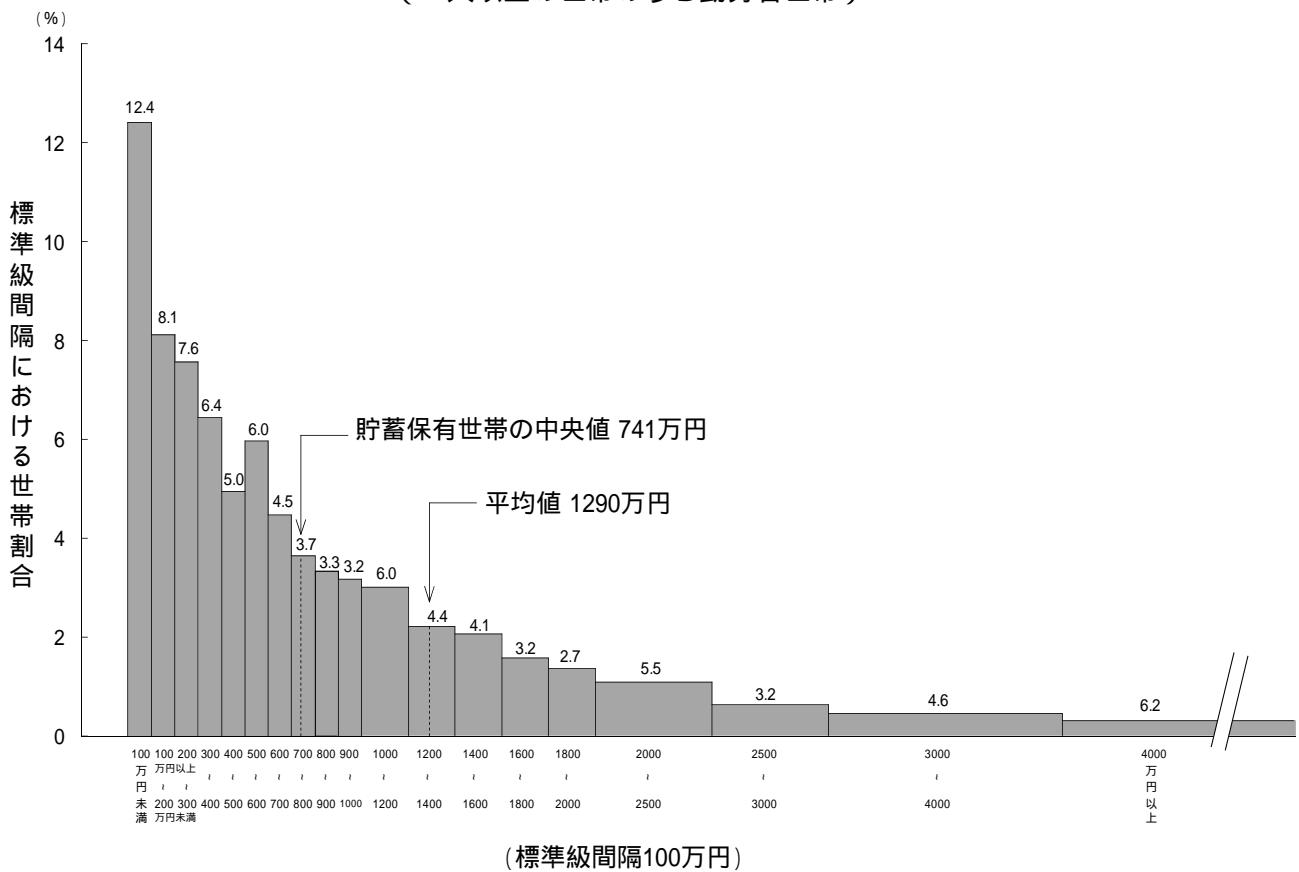
貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

図1 貯蓄現在高階級別世帯分布 - 2014年 -

(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) 標準級間隔100万円(1000万円未満)の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

## 2 貯蓄の種類別内訳

### (1) 二人以上の世帯の有価証券は2年連続の増加

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が758万円（貯蓄現在高に占める割合42.2%）と最も多く、次いで通貨性預貯金が380万円（同21.1%）、「生命保険など」が371万円（同20.6%）、有価証券が251万円（同14.0%）、金融機関外が37万円（同2.1%）となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金が469万円（同36.4%）と最も多く、次いで「生命保険など」が320万円（同24.8%）、通貨性預貯金が308万円（同23.9%）、有価証券が136万円（同10.5%）、金融機関外が57万円（同4.4%）となっている。

2013年と比べると、二人以上の世帯について、定期性預貯金、通貨性預貯金及び有価証券は増加となっている。有価証券については、前年に比べ11万円、4.6%の増加となり、2年連続の増加となっている。一方で、「生命保険など」は減少となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金、通貨性預貯金及び有価証券は増加となっている。特に通貨性預貯金は、調査を開始した2002年以降12年連続の増加となっている。有価証券については、前年に比べ20万円、17.2%の増加となり、2年連続の増加となっている。「生命保険など」は同水準となっている。

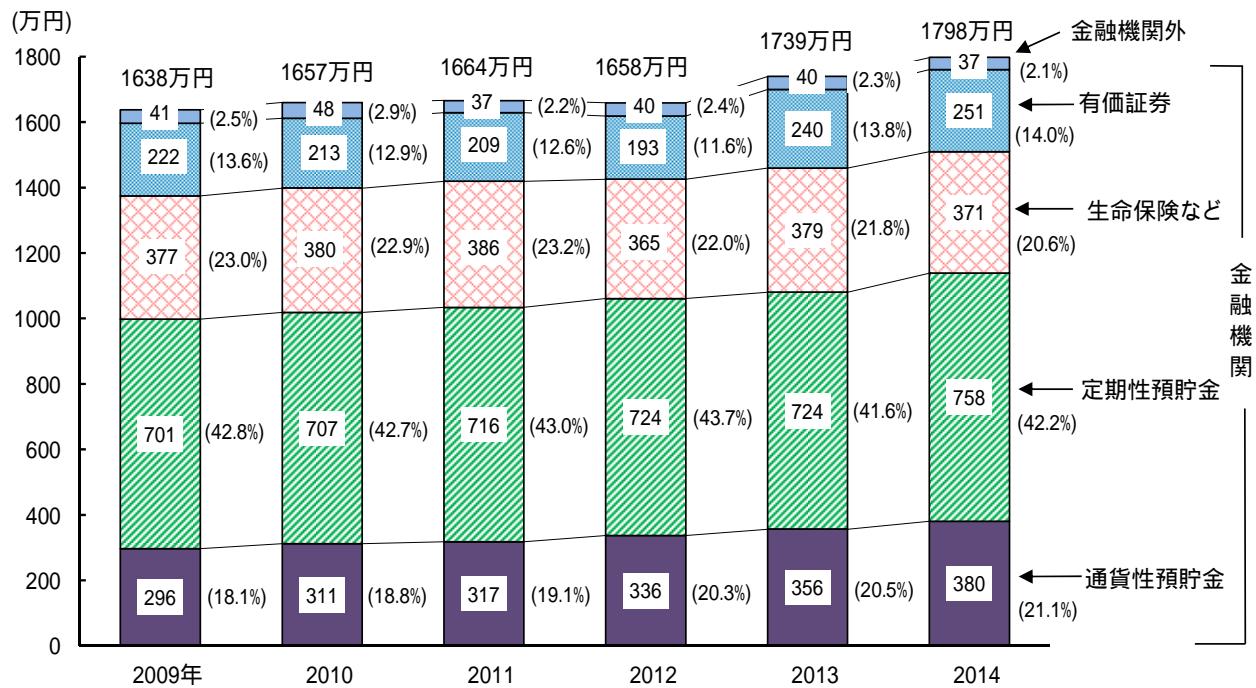
（表2、図2）

表2 質蓄の種類別貯蓄現在高の推移

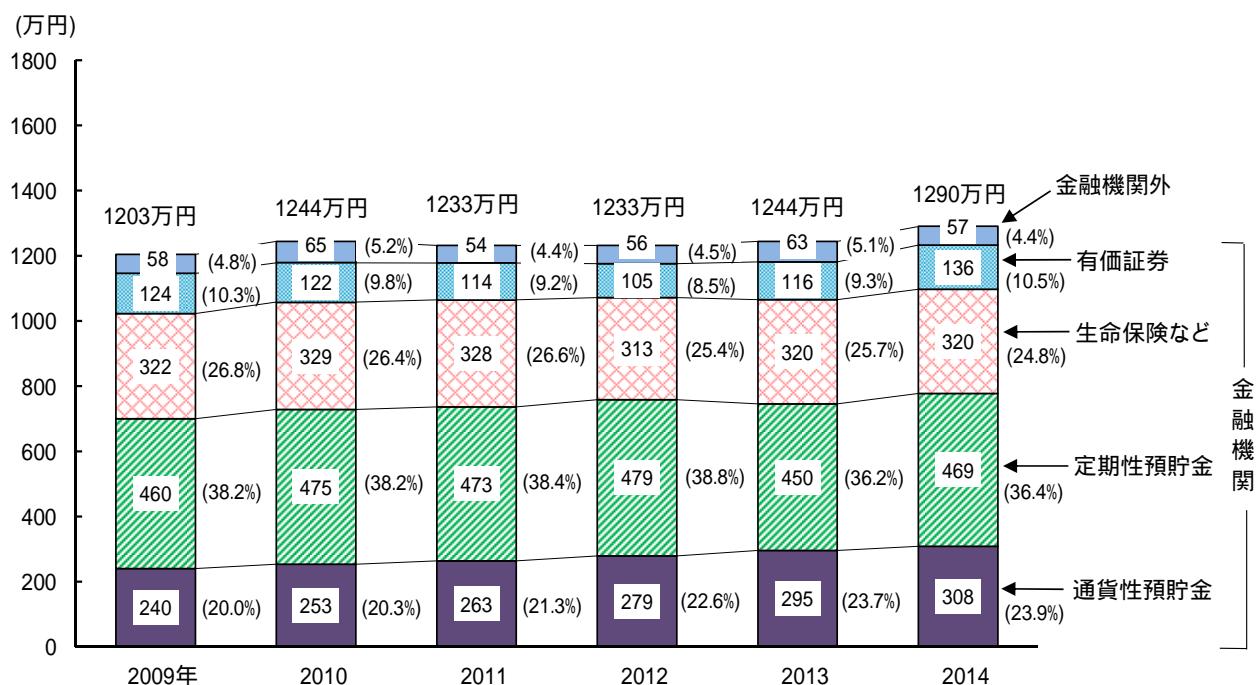
年次	貯蓄 現在高	二人以上の世帯													金融 機関外	
		金融機関	通貨性 預貯金			定期性 預貯金		生命保険 など			有価証券	株式・ 株式投資 信託			貸付信託 ・金銭信託	債券・ 公社債 投資信託
			普通 銀行等	郵便貯金 銀行	普通 銀行等	郵便貯金 銀行	生命保険 など	株式・ 株式投資 信託	貸付信託 ・金銭信託	債券・ 公社債 投資信託		株式・ 株式投資 信託	貸付信託 ・金銭信託	債券・ 公社債 投資信託		
金額(万円)																
2009年	1638	1597	296	222	74	701	477	224	377	222	139	13	70	41		
2010	1657	1610	311	237	73	707	485	222	380	213	134	11	68	48		
2011	1664	1627	317	244	73	716	498	218	386	209	134	12	63	37		
2012	1658	1618	336	259	77	724	504	221	365	193	126	10	57	40		
2013	1739	1699	356	280	76	724	515	210	379	240	161	12	67	40		
2014	1798	1761	380	301	79	758	540	218	371	251	175	12	64	37		
構成比(%)																
2009年	100.0	97.5	18.1	13.6	4.5	42.8	29.1	13.7	23.0	13.6	8.5	0.8	4.3	2.5		
2010	100.0	97.2	18.8	14.3	4.4	42.7	29.3	13.4	22.9	12.9	8.1	0.7	4.1	2.9		
2011	100.0	97.8	19.1	14.7	4.4	43.0	29.9	13.1	23.2	12.6	8.1	0.7	3.8	2.2		
2012	100.0	97.6	20.3	15.6	4.6	43.7	30.4	13.3	22.0	11.6	7.6	0.6	3.4	2.4		
2013	100.0	97.7	20.5	16.1	4.4	41.6	29.6	12.1	21.8	13.8	9.3	0.7	3.9	2.3		
2014	100.0	97.9	21.1	16.7	4.4	42.2	30.0	12.1	20.6	14.0	9.7	0.7	3.6	2.1		
対前年増減率(%)																
2009年	-2.5	-2.6	2.1	2.3	1.4	0.7	1.5	-0.9	-1.8	-17.8	-18.7	-13.3	-17.6	5.1		
2010	1.2	0.8	5.1	6.8	-1.4	0.9	1.7	-0.9	0.8	-4.1	-3.6	-15.4	-2.9	17.1		
2011	0.4	1.1	1.9	3.0	0.0	1.3	2.7	-1.8	1.6	-1.9	0.0	9.1	-7.4	-22.9		
2012	-0.4	-0.6	6.0	6.1	5.5	1.1	1.2	1.4	-5.4	-7.7	-6.0	-16.7	-9.5	8.1		
2013	4.9	5.0	6.0	8.1	-1.3	0.0	2.2	-5.0	3.8	24.4	27.8	20.0	17.5	0.0		
2014	3.4	3.6	6.7	7.5	3.9	4.7	4.9	3.8	-2.1	4.6	8.7	0.0	-4.5	-7.5		
二三人以上の世帯のうち勤労者世帯																
年次	貯蓄 現在高	金融機関	通貨性 預貯金			定期性 預貯金		生命保険 など			有価証券	株式・ 株式投資 信託			金融 機関外	
			普通 銀行等	郵便貯金 銀行	普通 銀行等	郵便貯金 銀行	普通 銀行等	郵便貯金 銀行	生命保険 など	株式・ 株式投資 信託		貸付信託 ・金銭信託	債券・ 公社債 投資信託			
			金額(万円)													
2009年	1203	1145	240	182	57	460	301	158	322	124	75	11	38	58		
2010	1244	1179	253	199	54	475	317	157	329	122	76	6	39	65		
2011	1233	1179	263	204	59	473	322	151	328	114	77	7	30	54		
2012	1233	1177	279	216	63	479	329	150	313	105	67	5	33	56		
2013	1244	1181	295	231	64	450	309	141	320	116	80	6	29	63		
2014	1290	1233	308	245	64	469	323	146	320	136	101	6	29	57		
構成比(%)																
2009年	100.0	95.2	20.0	15.1	4.7	38.2	25.0	13.1	26.8	10.3	6.2	0.9	3.2	4.8		
2010	100.0	94.8	20.3	16.0	4.3	38.2	25.5	12.6	26.4	9.8	6.1	0.5	3.1	5.2		
2011	100.0	95.6	21.3	16.5	4.8	38.4	26.1	12.2	26.6	9.2	6.2	0.6	2.4	4.4		
2012	100.0	95.5	22.6	17.5	5.1	38.8	26.7	12.2	25.4	8.5	5.4	0.4	2.7	4.5		
2013	100.0	94.9	23.7	18.6	5.1	36.2	24.8	11.3	25.7	9.3	6.4	0.5	2.3	5.1		
2014	100.0	95.6	23.9	19.0	5.0	36.4	25.0	11.3	24.8	10.5	7.8	0.5	2.2	4.4		
対前年増減率(%)																
2009年	-3.8	-4.2	2.6	2.8	0.0	-4.0	-5.0	-3.1	-3.6	-15.6	-20.2	37.5	-15.6	5.5		
2010	3.4	3.0	5.4	9.3	-5.3	3.3	5.3	-0.6	2.2	-1.6	1.3	-45.5	2.6	12.1		
2011	-0.9	0.0	4.0	2.5	9.3	-0.4	1.6	-3.8	-0.3	-6.6	1.3	16.7	-23.1	-16.9		
2012	0.0	-0.2	6.1	5.9	6.8	1.3	2.2	-0.7	-4.6	-7.9	-13.0	-28.6	10.0	3.7		
2013	0.9	0.3	5.7	6.9	1.6	-6.1	-6.0	2.2	10.5	19.4	20.0	-12.1	12.5			
2014	3.7	4.4	4.4	6.1	0.0	4.2	4.5	3.5	0.0	17.2	26.3	0.0	0.0	-9.5		

図2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移

(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) ( )内は、貯蓄現在高に占める割合

(2) 貯蓄現在高が3000万円以上の世帯の有価証券の割合は約2割

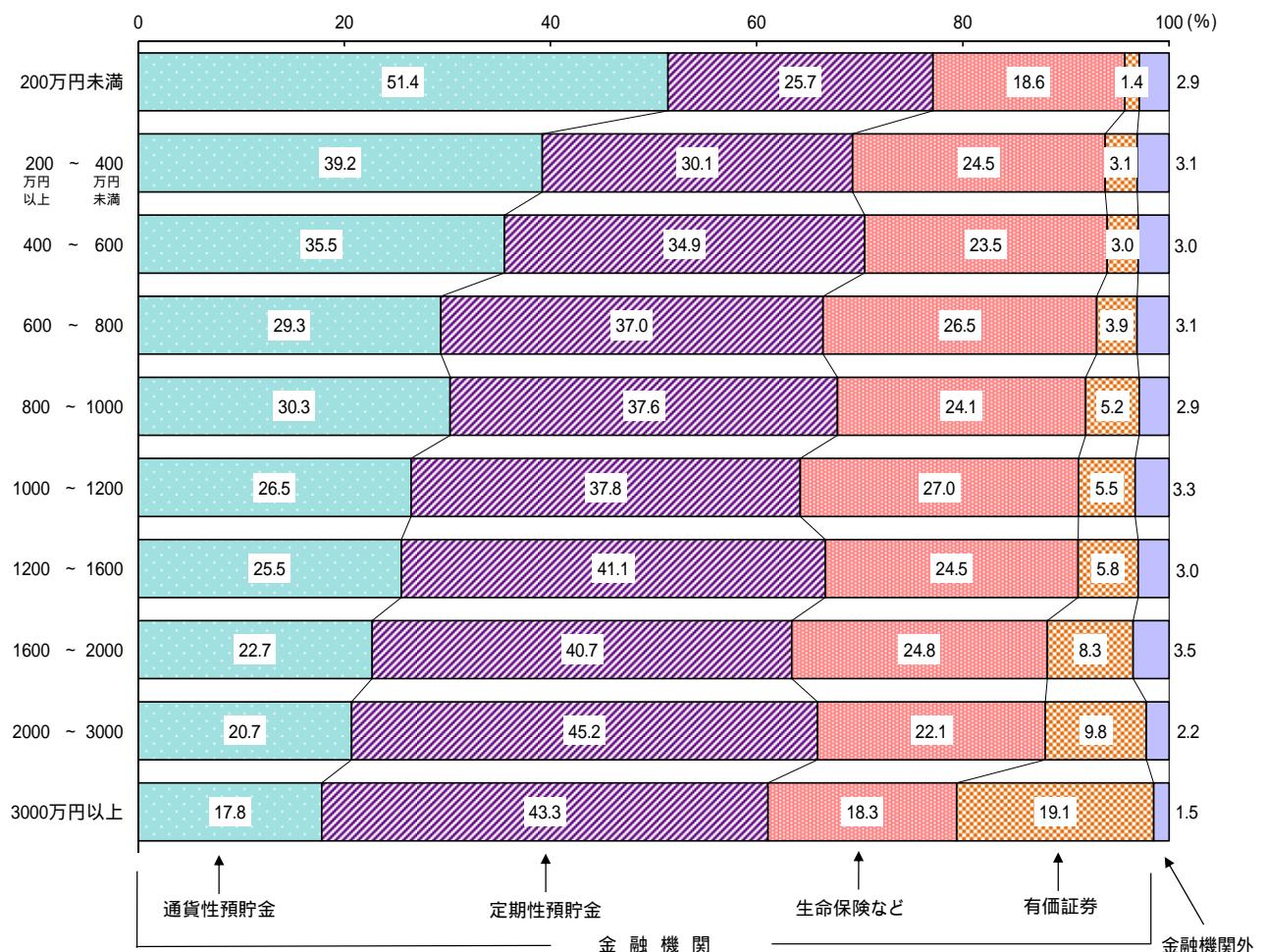
二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別に貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が少ない世帯ほどおおむね通貨性預貯金の割合が高く、貯蓄現在高が多い世帯ほどおおむね定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなっている。貯蓄現在高が3000万円以上の世帯についてみると、有価証券の割合は約2割となっている。

(表3, 図3)

表3 貯蓄現在高階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高(二人以上の世帯) - 2014年 -

項目	平均	200万円 未満	200 万円以上 ~400 万円未満	400	600	800	1000	1200	1600	2000	3000 万円 以上
		1798	70	286	493	686	891	1085	1387	1791	2428
<b>貯蓄現在高</b>											
金融機関	1761	68	277	478	665	864	1048	1344	1730	2374	5677
通貨性預貯金	380	36	112	175	201	270	287	354	407	502	1027
定期性預貯金	758	18	86	172	254	335	410	570	729	1098	2495
生命保険など	371	13	70	116	182	215	293	340	445	536	1054
有価証券	251	1	9	15	27	46	60	80	149	238	1101
金融機関外	37	2	9	15	21	26	36	42	62	53	87
(参考)年間収入	614	473	558	566	574	624	617	604	667	654	773
<b>構成比(%)</b>											
貯蓄現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	97.9	97.1	96.9	97.0	96.9	97.0	96.6	96.9	96.6	97.8	98.5
通貨性預貯金	21.1	51.4	39.2	35.5	29.3	30.3	26.5	25.5	22.7	20.7	17.8
定期性預貯金	42.2	25.7	30.1	34.9	37.0	37.6	37.8	41.1	40.7	45.2	43.3
生命保険など	20.6	18.6	24.5	23.5	26.5	24.1	27.0	24.5	24.8	22.1	18.3
有価証券	14.0	1.4	3.1	3.0	3.9	5.2	5.5	5.8	8.3	9.8	19.1
金融機関外	2.1	2.9	3.1	3.0	3.1	2.9	3.3	3.0	3.5	2.2	1.5
<b>構成比の対前年変化幅(ポイント)</b>											
貯蓄現在高											
金融機関	0.2	0.0	0.0	-0.3	-0.1	-0.2	-0.2	0.1	-0.5	0.7	0.3
通貨性預貯金	0.6	0.0	1.2	1.8	0.0	4.9	-0.2	2.2	0.4	-0.4	0.9
定期性預貯金	0.6	0.0	-2.1	1.4	0.9	-1.5	-0.6	1.2	-1.8	1.8	0.4
生命保険など	-1.2	0.0	1.2	-3.2	-0.4	-3.4	2.1	-2.0	0.2	-0.7	-1.2
有価証券	0.2	-1.5	-0.3	-0.3	-0.9	0.0	-1.1	-1.2	0.6	0.0	0.2
金融機関外	-0.2	-1.4	0.0	0.3	0.1	0.0	0.1	-0.3	0.6	-0.7	-0.3

図3 貯蓄現在高階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比（二人以上の世帯）- 2014年 -



## 負債の状況

### 1 概要

二人以上の世帯の負債現在高は509万円で、前年に比べ10万円、2.0%の増加

二人以上の世帯における2014年平均の1世帯当たり負債現在高（平均値）は509万円で、前年に比べ10万円、2.0%の増加となった。このうち勤労者世帯についてみると、負債現在高は756万円となっており、前年に比べ16万円、2.2%の増加となった。

負債年収比（負債現在高の年間収入に対する比）をみると、二人以上の世帯では82.9%と前年に比べ1.9ポイントの上昇となり、勤労者世帯では107.7%と前年に比べ3.2ポイントの上昇となった。

二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合は37.8%で、前年に比べ0.9ポイントの低下となった。このうち勤労者世帯についてみると、負債保有世帯の割合は52.9%で、前年に比べ1.1ポイントの低下となった。

二人以上の世帯の負債保有世帯に限ってみると、負債現在高の平均値（1349万円）を下回る世帯が57.4%を占めている。また、負債保有世帯を二分する中央値は、1019万円（前年981万円）となった。このうち勤労者世帯についてみると、負債保有世帯の負債現在高の平均値（1428万円）を下回る世帯の割合は53.8%となっている。

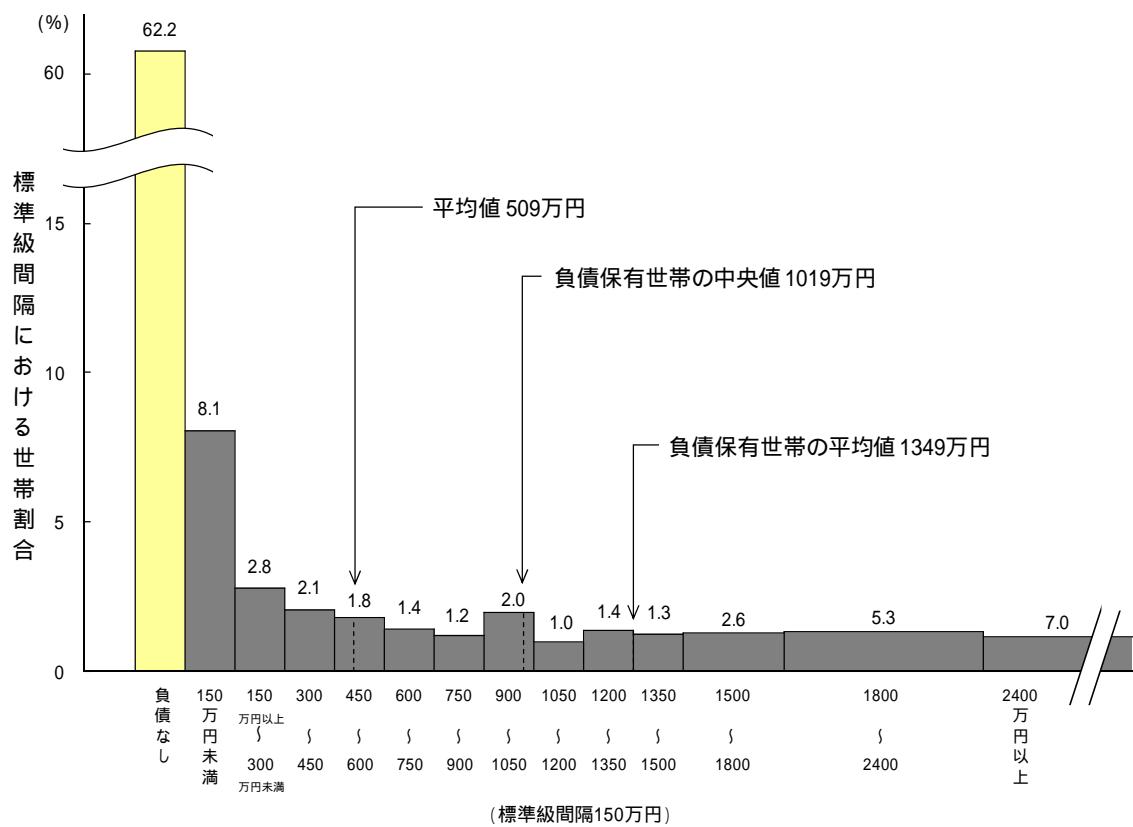
（表4、図4）

表4 負債現在高，負債保有世帯の負債現在高の推移

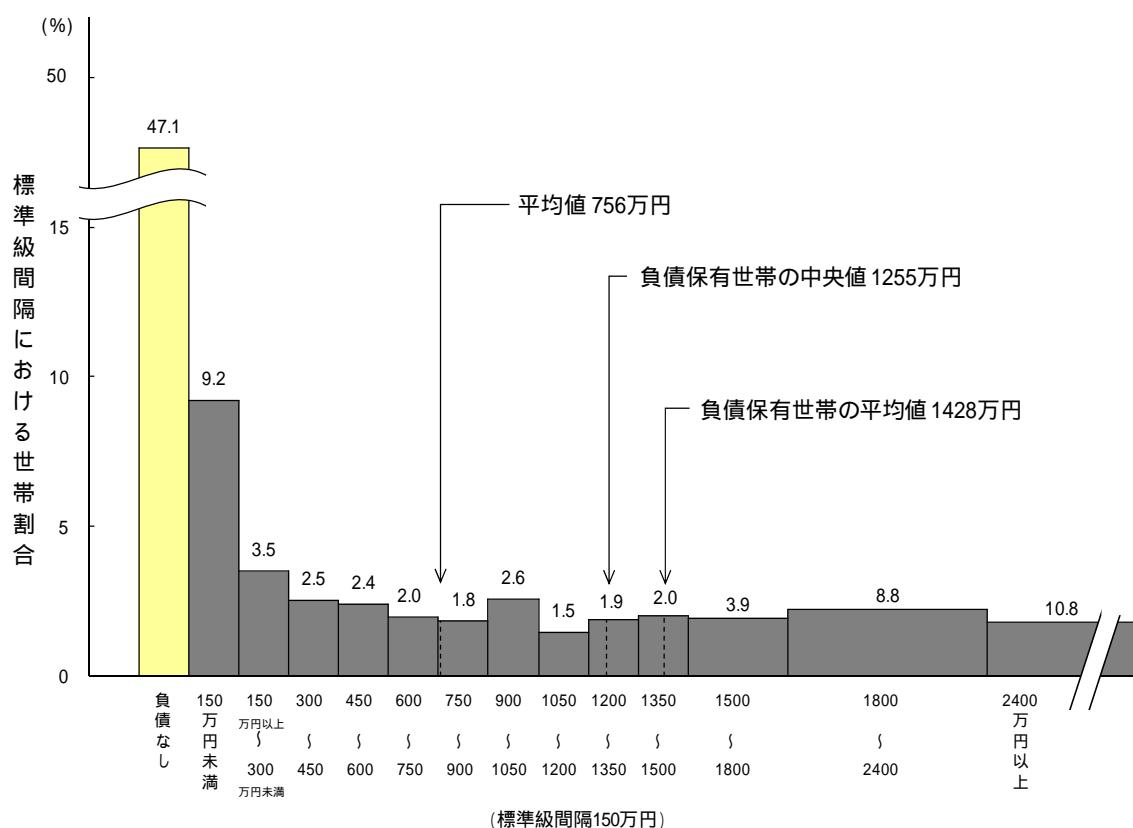
年 次	負債現在高	年間収入	対前年増減率		負債年収比	負債保有世帯の割合	負債保有世帯の負債現在高	負債保有世帯の中央値
			負債現在高	年間収入				
	(1) (万円)	(2) (万円)			(%)	(%)	(万円)	(万円)
二人以上の世帯								
2002年	537	683	-	-	78.6	43.4	1239	734
2003	508	660	-5.4	-3.4	77.0	42.9	1183	719
2004	524	650	3.1	-1.5	80.6	42.8	1223	808
2005	501	645	-4.4	-0.8	77.7	40.8	1227	798
2006	506	645	1.0	0.0	78.4	41.0	1233	815
2007	505	649	-0.2	0.6	77.8	40.6	1242	892
2008	498	637	-1.4	-1.8	78.2	41.1	1211	830
2009	479	630	-3.8	-1.1	76.0	40.5	1184	860
2010	489	616	2.1	-2.2	79.4	40.0	1223	859
2011	462	612	-5.5	-0.6	75.5	38.2	1207	888
2012	469	606	1.5	-1.0	77.4	38.9	1208	862
2013	499	616	6.4	1.7	81.0	38.7	1291	981
2014	509	614	2.0	-0.3	82.9	37.8	1349	1019
二人以上の世帯 のうち勤労者世帯								
2002年	607	748	-	-	81.1	52.2	1164	797
2003	605	721	-0.3	-3.6	83.9	51.6	1171	875
2004	655	730	8.3	1.2	89.7	52.7	1242	975
2005	616	719	-6.0	-1.5	85.7	49.8	1238	965
2006	624	713	1.3	-0.8	87.5	51.2	1219	948
2007	664	718	6.4	0.7	92.5	51.3	1294	1033
2008	652	717	-1.8	-0.1	90.9	52.4	1244	985
2009	643	709	-1.4	-1.1	90.7	52.8	1216	1010
2010	679	697	5.6	-1.7	97.4	52.8	1287	1036
2011	647	689	-4.7	-1.1	93.9	51.9	1246	1035
2012	695	691	7.4	0.3	100.6	53.5	1300	1077
2013	740	708	6.5	2.5	104.5	54.0	1369	1180
2014	756	702	2.2	-0.8	107.7	52.9	1428	1255

負債保有世帯の中央値とは、負債現在高が「0」の世帯を除いた世帯を負債現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の負債現在高をいう。

図4 負債現在高階級別世帯分布 - 2014年 -  
(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) 標準級間隔 150 万円 (1500 万円未満) の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1500 万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

## 2 負債の種類別内訳

二人以上の世帯の住宅・土地のための負債は458万円で、前年に比べ10万円、2.2%の増加

二人以上の世帯について負債の種類別に負債現在高をみると、負債現在高の9割を占める住宅・土地のための負債は458万円で、前年に比べ10万円、2.2%の増加となった。

このうち勤労者世帯についてみると、住宅・土地のための負債は710万円で、前年に比べ23万円、3.3%の増加となった。

二人以上の世帯の住宅・土地のための負債について、借入先の内訳をみると、公的機関については、前年に比べ3万円、4.5%の減少となった。一方、民間機関については、前年に比べ14万円、3.8%の増加となった。

このうち勤労者世帯についてみると、公的機関については、前年に比べ20万円、20.0%の減少となった。一方、民間機関については、前年に比べ44万円、7.9%の増加となった。

(表5)

表5 負債の種類別負債現在高 - 2013, 2014年 -

項目	二人以上の世帯							
	2013年				2014年			
	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)
負債現在高	499	100.0	6.4	38.7	509	100.0	2.0	37.8
住宅・土地のための負債	448	89.8	6.4	28.1	458	90.0	2.2	27.3
公的機関	67	13.4	9.8	5.8	64	12.6	-4.5	4.8
民間機関	365	73.1	7.0	22.2	379	74.5	3.8	22.2
その他	17	3.4	-10.5	2.5	15	2.9	-11.8	2.1
住宅・土地以外の負債	37	7.4	5.7	8.0	37	7.3	0.0	7.8
公的機関	9	1.8	12.5	2.2	5	1.0	-44.4	1.5
民間機関	24	4.8	4.3	5.1	27	5.3	12.5	5.4
その他	5	1.0	0.0	2.0	5	1.0	0.0	2.0
月賦・年賦	14	2.8	0.0	14.1	14	2.8	0.0	14.2

項目	二人以上の世帯のうち勤労者世帯							
	2013年				2014年			
	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	負債保有 世帯割合 (%)
負債現在高	740	100.0	6.5	54.0	756	100.0	2.2	52.9
住宅・土地のための負債	687	92.8	6.0	42.2	710	93.9	3.3	40.9
公的機関	100	13.5	7.5	8.0	80	10.6	-20.0	5.9
民間機関	559	75.5	6.9	33.7	603	79.8	7.9	34.1
その他	28	3.8	-9.7	4.1	27	3.6	-3.6	3.5
住宅・土地以外の負債	35	4.7	20.7	10.2	27	3.6	-22.9	9.5
公的機関	9	1.2	50.0	2.4	3	0.4	-66.7	1.5
民間機関	22	3.0	22.2	6.5	19	2.5	-13.6	6.6
その他	4	0.5	-20.0	2.6	5	0.7	25.0	2.6
月賦・年賦	18	2.4	0.0	18.7	19	2.5	5.6	19.1

## 世帯属性別にみた貯蓄・負債の状況

### 1 二人以上の世帯の世帯主の年齢階級別の状況

#### (1) 貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い傾向

二人以上の世帯について世帯主の年齢階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高が多い傾向にある。40歳未満の世帯が562万円となっているのに対し、60歳以上の年齢階級では2000万円を超える貯蓄現在高となっている。1世帯当たり負債現在高をみると、40～49歳が1051万円と最も多く、それ以降は年齢階級が高くなるに従って少なくなっている。

二人以上の世帯における負債保有世帯の割合は、40～49歳が62.3%と最も高く、それ以降は年齢階級が高くなるに従って低くなっている。

純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）をみると、50歳以上の年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、70歳以上の世帯の純貯蓄額は2374万円と最も多くなっている。

（図5、表6）

図5 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高、負債保有世帯の割合  
(二人以上の世帯) - 2014年 -

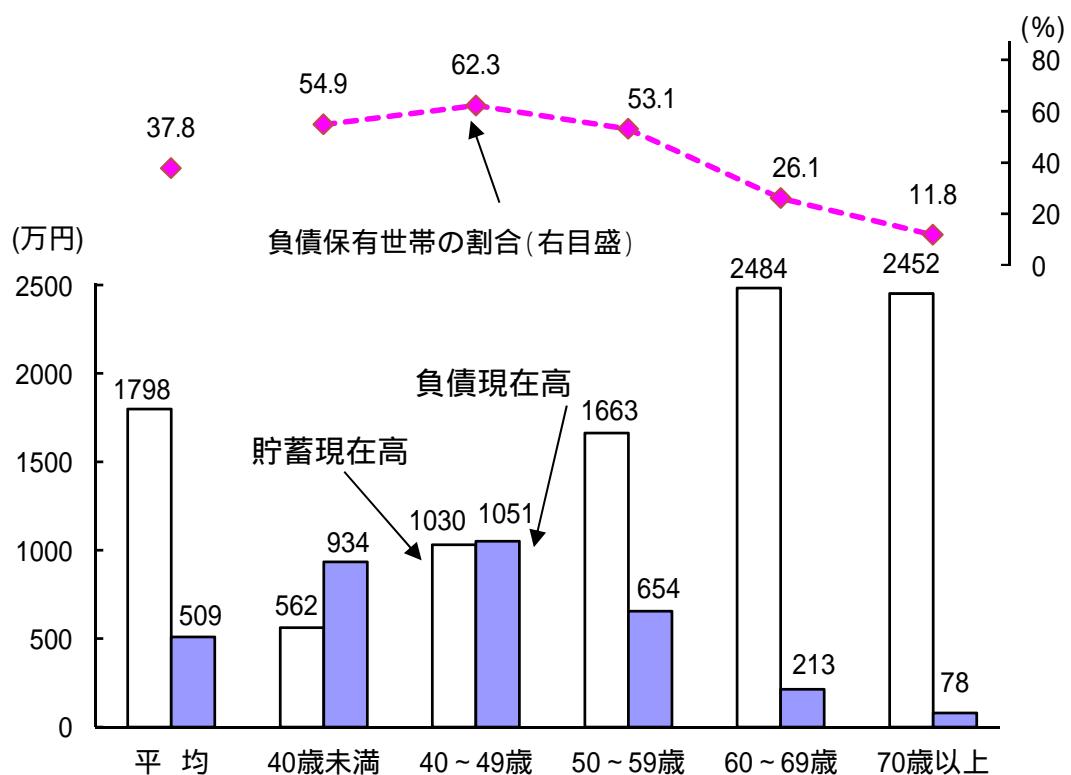


表6 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
貯蓄現在高(万円)						
2005年	1728	647	1181	1747	2367	2586
2006	1722	630	1167	1752	2412	2481
2007	1719	585	1118	1697	2474	2426
2008	1680	591	1179	1675	2288	2415
2009	1638	558	1111	1670	2202	2361
2010	1657	577	1082	1660	2314	2253
2011	1664	554	1118	1588	2363	2211
2012	1658	530	1033	1675	2249	2197
2013	1739	588	1049	1595	2385	2385
2014	1798	562	1030	1663	2484	2452
対前年増減率(%)						
2006年	-0.3	-2.6	-1.2	0.3	1.9	-4.1
2007	-0.2	-7.1	-4.2	-3.1	2.6	-2.2
2008	-2.3	1.0	5.5	-1.3	-7.5	-0.5
2009	-2.5	-5.6	-5.8	-0.3	-3.8	-2.2
2010	1.2	3.4	-2.6	-0.6	5.1	-4.6
2011	0.4	-4.0	3.3	-4.3	2.1	-1.9
2012	-0.4	-4.3	-7.6	5.5	-4.8	-0.6
2013	4.9	10.9	1.5	-4.8	6.0	8.6
2014	3.4	-4.4	-1.8	4.3	4.2	2.8
年間収入(万円)						
2014年	614	578	729	819	569	457
貯蓄年収比(貯蓄現在高 / 年間収入)(%)						
2014年	292.8	97.2	141.3	203.1	436.6	536.5
負債現在高(万円)						
2005年	501	701	852	581	224	167
2006	506	690	945	556	255	121
2007	505	768	935	594	221	90
2008	498	758	954	525	217	124
2009	479	707	942	529	201	116
2010	489	777	940	551	221	108
2011	462	772	871	551	226	90
2012	469	829	978	536	197	96
2013	499	931	994	607	204	93
2014	509	934	1051	654	213	78
対前年増減率(%)						
2006年	1.0	-1.6	10.9	-4.3	13.8	-27.5
2007	-0.2	11.3	-1.1	6.8	-13.3	-25.6
2008	-1.4	-1.3	2.0	-11.6	-1.8	37.8
2009	-3.8	-6.7	-1.3	0.8	-7.4	-6.5
2010	2.1	9.9	-0.2	4.2	10.0	-6.9
2011	-5.5	-0.6	-7.3	0.0	2.3	-16.7
2012	1.5	7.4	12.3	-2.7	-12.8	6.7
2013	6.4	12.3	1.6	13.2	3.6	-3.1
2014	2.0	0.3	5.7	7.7	4.4	-16.1

表6 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移(二人以上の世帯)(続き)

年次	平均	40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
住宅・土地のための負債(万円)						
2005年	434	655	768	471	170	137
2006	440	652	866	453	185	94
2007	448	714	864	491	183	75
2008	444	712	873	452	178	96
2009	429	666	881	451	165	83
2010	431	734	865	452	170	83
2011	409	729	812	466	170	68
2012	421	785	913	462	153	72
2013	448	876	923	526	165	70
2014	458	883	975	558	178	59
対前年増減率(%)						
2006年	1.4	-0.5	12.8	-3.8	8.8	-31.4
2007	1.8	9.5	-0.2	8.4	-1.1	-20.2
2008	-0.9	-0.3	1.0	-7.9	-2.7	28.0
2009	-3.4	-6.5	0.9	-0.2	-7.3	-13.5
2010	0.5	10.2	-1.8	0.2	3.0	0.0
2011	-5.1	-0.7	-6.1	3.1	0.0	-18.1
2012	2.9	7.7	12.4	-0.9	-10.0	5.9
2013	6.4	11.6	1.1	13.9	7.8	-2.8
2014	2.2	0.8	5.6	6.1	7.9	-15.7
負債保有世帯の割合(%)						
2005年	40.8	51.0	60.6	49.8	26.1	15.9
2006	41.0	50.6	61.0	52.1	28.0	13.4
2007	40.6	52.5	60.7	52.6	25.3	14.8
2008	41.1	54.4	62.1	51.2	26.3	15.4
2009	40.5	51.2	63.3	52.1	26.1	14.7
2010	40.0	53.2	62.8	52.1	24.9	15.0
2011	38.2	53.5	59.9	52.9	25.0	12.3
2012	38.9	54.1	64.5	51.9	27.0	12.5
2013	38.7	56.0	61.8	54.9	25.2	12.8
2014	37.8	54.9	62.3	53.1	26.1	11.8
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円)						
2005年	1227	-54	329	1166	2143	2419
2006	1216	-60	222	1196	2157	2360
2007	1214	-183	183	1103	2253	2336
2008	1182	-167	225	1150	2071	2291
2009	1159	-149	169	1141	2001	2245
2010	1168	-200	142	1109	2093	2145
2011	1202	-218	247	1037	2137	2121
2012	1189	-299	55	1139	2052	2101
2013	1240	-343	55	988	2181	2292
2014	1289	-372	-21	1009	2271	2374
世帯数分布(%)						
2014年	100.0	13.6	18.9	17.4	23.8	26.4

マイナスは、負債超過額を示す。

## (2) 負債保有世帯のうち負債超過額が最も多いのは世帯主が40歳未満の世帯

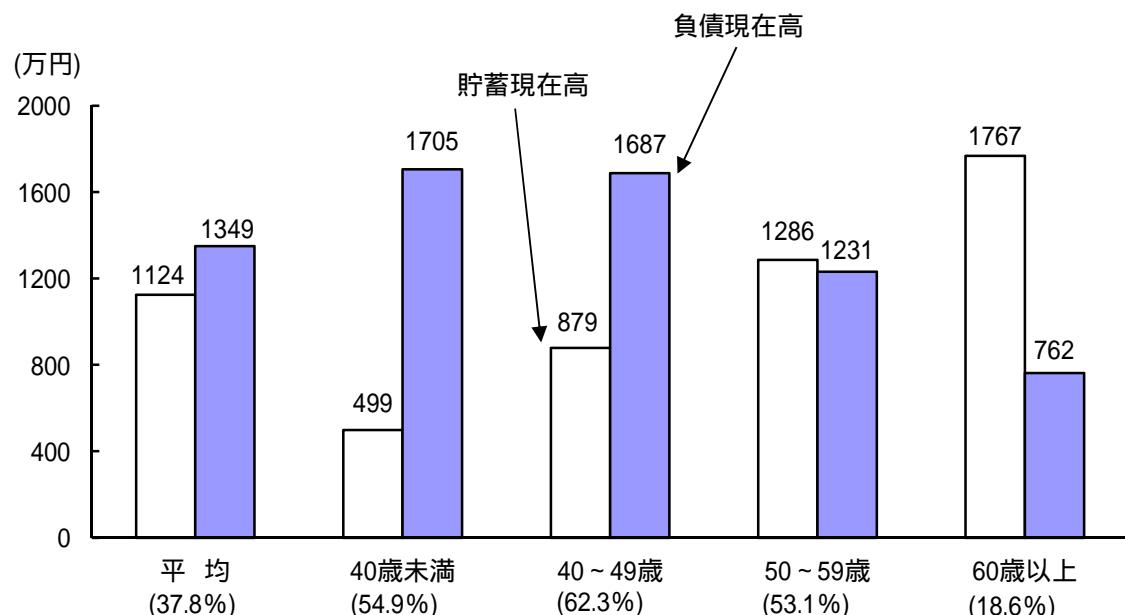
二人以上の世帯のうち負債保有世帯について世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高は多くなっている。40歳未満の世帯が499万円となっているのに対し、60歳以上の世帯は1767万円となっている。

負債現在高をみると、40歳未満の世帯が1705万円と最も多く、それ以降は年齢階級が高くなるに従って負債現在高は少なくなっている。

純貯蓄額をみると、50歳未満の各年齢階級で負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、40歳未満の世帯の負債超過額が1206万円と最も多くなっている。一方、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、60歳以上の世帯の純貯蓄額は1005万円となっている。

(図6, 表7)

図6 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高(二人以上の世帯のうち負債保有世帯) - 2014年 -



注) ( )内は、当該階級ごとの二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合

表7 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯のうち負債保有世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60歳以上
貯蓄現在高(万円)					
2005年	1155	534	948	1345	1824
2006	1191	526	984	1469	1767
2007	1126	498	932	1378	1683
2008	1050	507	947	1213	1553
2009	1014	444	897	1227	1466
2010	1037	458	843	1248	1600
2011	1041	485	897	1126	1664
2012	1025	474	851	1213	1504
2013	1046	477	867	1232	1553
2014	1124	499	879	1286	1767
対前年増減率(%)					
2006年	3.1	-1.5	3.8	9.2	-3.1
2007	-5.5	-5.3	-5.3	-6.2	-4.8
2008	-6.7	1.8	1.6	-12.0	-7.7
2009	-3.4	-12.4	-5.3	1.2	-5.6
2010	2.3	3.2	-6.0	1.7	9.1
2011	0.4	5.9	6.4	-9.8	4.0
2012	-1.5	-2.3	-5.1	7.7	-9.6
2013	2.0	0.6	1.9	1.6	3.3
2014	7.5	4.6	1.4	4.4	13.8
年間収入(万円)					
2014年	716	602	763	863	602
貯蓄年収比(貯蓄現在高 / 年間収入) (%)					
2014年	157.0	82.9	115.2	149.0	293.5
負債現在高(万円)					
2005年	1227	1375	1408	1167	920
2006	1233	1365	1551	1067	903
2007	1242	1459	1539	1132	786
2008	1211	1389	1537	1024	819
2009	1184	1383	1489	1015	777
2010	1223	1458	1497	1059	829
2011	1207	1443	1457	1040	851
2012	1208	1531	1517	1033	742
2013	1291	1662	1609	1107	781
2014	1349	1705	1687	1231	762
対前年増減率(%)					
2006年	0.5	-0.7	10.2	-8.6	-1.8
2007	0.7	6.9	-0.8	6.1	-13.0
2008	-2.5	-4.8	-0.1	-9.5	4.2
2009	-2.2	-0.4	-3.1	-0.9	-5.1
2010	3.3	5.4	0.5	4.3	6.7
2011	-1.3	-1.0	-2.7	-1.8	2.7
2012	0.1	6.1	4.1	-0.7	-12.8
2013	6.9	8.6	6.1	7.2	5.3
2014	4.5	2.6	4.8	11.2	-2.4

表7 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯のうち負債保有世帯）(続き)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60歳以上
住宅・土地のための負債(万円)					
2005年	1062	1286	1269	946	720
2006	1074	1289	1421	870	665
2007	1103	1356	1423	935	653
2008	1081	1306	1406	882	656
2009	1061	1301	1393	865	610
2010	1079	1380	1378	868	639
2011	1071	1362	1358	880	643
2012	1082	1451	1415	890	569
2013	1160	1567	1494	958	618
2014	1214	1612	1566	1051	621
対前年増減率(%)					
2006年	1.1	0.2	12.0	-8.0	-7.6
2007	2.7	5.2	0.1	7.5	-1.8
2008	-2.0	-3.7	-1.2	-5.7	0.5
2009	-1.9	-0.4	-0.9	-1.9	-7.0
2010	1.7	6.1	-1.1	0.3	4.8
2011	-0.7	-1.3	-1.5	1.4	0.6
2012	1.0	6.5	4.2	1.1	-11.5
2013	7.2	8.0	5.6	7.6	8.6
2014	4.7	2.9	4.8	9.7	0.5
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円)					
2005年	-72	-841	-460	178	904
2006	-42	-839	-567	402	864
2007	-116	-961	-607	246	897
2008	-161	-882	-590	189	734
2009	-170	-939	-592	212	689
2010	-186	-1000	-654	189	771
2011	-166	-958	-560	86	813
2012	-183	-1057	-666	180	762
2013	-245	-1185	-742	125	772
2014	-225	-1206	-808	55	1005
世帯数分布(%)					
2014年	100.0	19.7	31.1	24.4	24.7

マイナスは、負債超過額を示す。

## 2 勤労者世帯の年間収入五分位階級別の状況

貯蓄現在高は年間収入が高くなるほど多い

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について年間収入五分位階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっている。年間収入が最も低い第 階級が658万円、年間収入が最も高い第 階級が2326万円となっている。前年と比べると、第、第 及び第 階級で増加となった。

貯蓄の種類別割合をみると、通貨性預貯金は第 階級が25.8%と最も高く、第 階級が22.8%と最も低くなっている。定期性預貯金は第 階級が41.0%と最も高く、第 階級が32.5%と最も低くなっている。有価証券は第 階級が16.1%と最も高く、第 階級が4.9%と最も低くなっている。

1世帯当たり負債現在高をみると、年間収入が高くなるに従って負債現在高も多くなっており、第 階級が334万円、第 階級が1016万円となっている。前年と比べると、第 階級を除いた全ての階級で増加となった。

(図7、図8、表8、表9)

図7 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高  
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2014年-

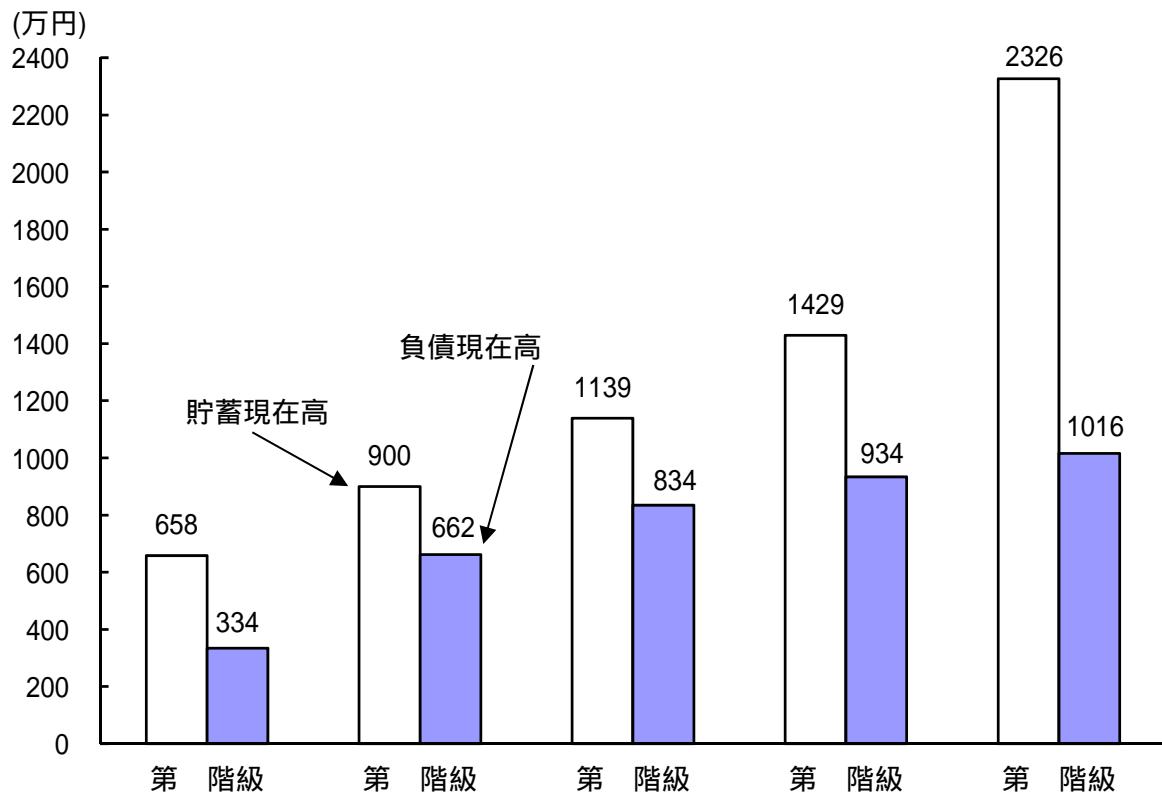


図8 年間収入五分位階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比  
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2014年-

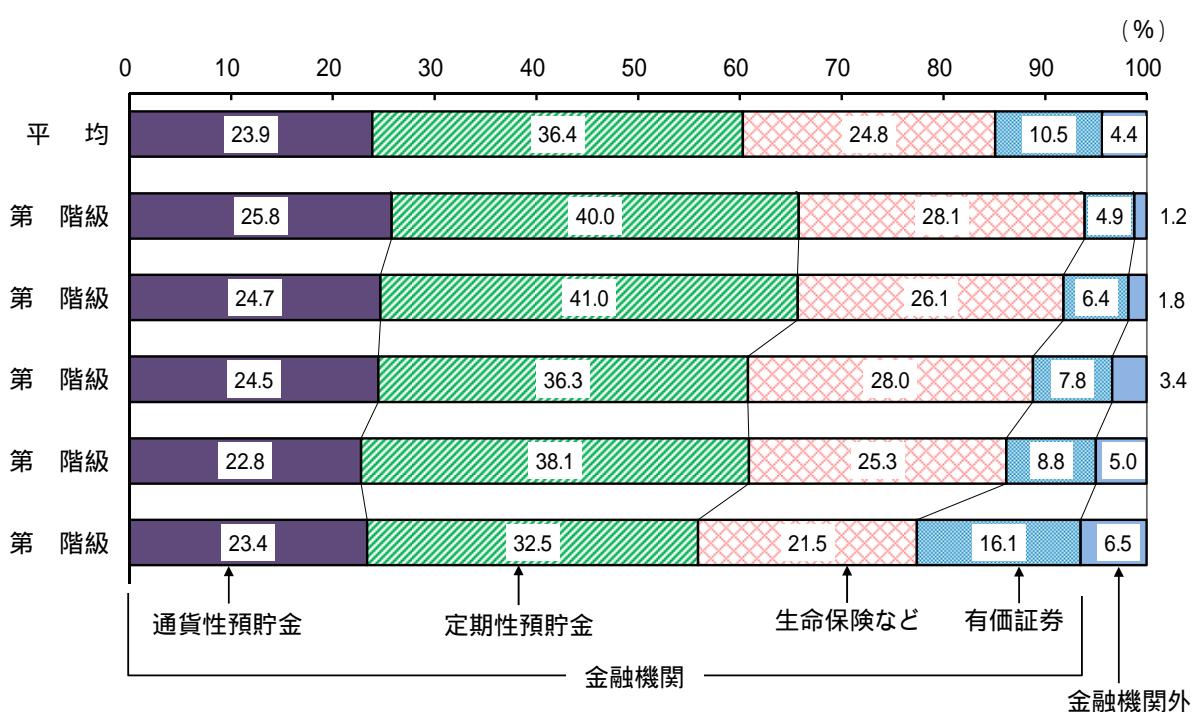


表8 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高の推移  
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

年 次	平均	第 1 階級	第 2 階級	第 3 階級	第 4 階級	第 5 階級
貯蓄現在高(万円)						
2005年	1292	586	895	1205	1496	2280
2006	1264	569	822	1174	1496	2257
2007	1268	625	942	1136	1390	2247
2008	1250	685	818	1148	1398	2199
2009	1203	588	825	1085	1430	2088
2010	1244	607	828	1096	1486	2201
2011	1233	593	854	1022	1384	2313
2012	1233	639	842	1096	1357	2231
2013	1244	664	845	1061	1472	2176
2014	1290	658	900	1139	1429	2326
対前年増減率(%)						
2006年	-2.2	-2.9	-8.2	-2.6	0.0	-1.0
2007	0.3	9.8	14.6	-3.2	-7.1	-0.4
2008	-1.4	9.6	-13.2	1.1	0.6	-2.1
2009	-3.8	-14.2	0.9	-5.5	2.3	-5.0
2010	3.4	3.2	0.4	1.0	3.9	5.4
2011	-0.9	-2.3	3.1	-6.8	-6.9	5.1
2012	0.0	7.8	-1.4	7.2	-2.0	-3.5
2013	0.9	3.9	0.4	-3.2	8.5	-2.5
2014	3.7	-0.9	6.5	7.4	-2.9	6.9
負債現在高(万円)						
2005年	616	270	538	639	785	848
2006	624	270	527	691	768	863
2007	664	340	542	679	791	967
2008	652	325	554	752	785	844
2009	643	289	536	744	769	875
2010	679	341	608	760	820	867
2011	647	301	617	718	800	800
2012	695	341	619	778	882	855
2013	740	384	579	832	906	997
2014	756	334	662	834	934	1016
対前年増減率(%)						
2006年	1.3	0.0	-2.0	8.1	-2.2	1.8
2007	6.4	25.9	2.8	-1.7	3.0	12.1
2008	-1.8	-4.4	2.2	10.8	-0.8	-12.7
2009	-1.4	-11.1	-3.2	-1.1	-2.0	3.7
2010	5.6	18.0	13.4	2.2	6.6	-0.9
2011	-4.7	-11.7	1.5	-5.5	-2.4	-7.7
2012	7.4	13.3	0.3	8.4	10.3	6.9
2013	6.5	12.6	-6.5	6.9	2.7	16.6
2014	2.2	-13.0	14.3	0.2	3.1	1.9
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円)						
2005年	676	316	357	566	711	1432
2006	640	299	295	483	728	1394
2007	604	285	400	457	599	1280
2008	598	360	264	396	613	1355
2009	560	299	289	341	661	1213
2010	565	266	220	336	666	1334
2011	586	292	237	304	584	1513
2012	538	298	223	318	475	1376
2013	504	280	266	229	566	1179
2014	534	324	238	305	495	1310

表8 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高の推移  
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)(続き)

年 次	平均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
			年間収入(万円)		括弧内は階級の境界値	
2005年	719	341 ( ~ 439)	515 (439 ~ 585)	657 (585 ~ 737)	841 (737 ~ 959)	1242 (959 ~ )
2006	713	330 ( ~ 432)	503 (432 ~ 573)	654 (573 ~ 733)	832 (733 ~ 952)	1247 (952 ~ )
2007	718	341 ( ~ 443)	511 (443 ~ 581)	654 (581 ~ 733)	834 (733 ~ 945)	1249 (945 ~ )
2008	717	341 ( ~ 437)	508 (437 ~ 582)	651 (582 ~ 727)	832 (727 ~ 950)	1251 (950 ~ )
2009	709	335 ( ~ 431)	501 (431 ~ 573)	645 (573 ~ 724)	827 (724 ~ 951)	1237 (951 ~ )
2010	697	331 ( ~ 428)	497 (428 ~ 564)	634 (564 ~ 711)	814 (711 ~ 931)	1208 (931 ~ )
2011	689	327 ( ~ 420)	486 (420 ~ 554)	626 (554 ~ 704)	798 (704 ~ 915)	1206 (915 ~ )
2012	691	337 ( ~ 431)	492 (431 ~ 556)	626 (556 ~ 700)	796 (700 ~ 909)	1201 (909 ~ )
2013	708	334 ( ~ 426)	498 (426 ~ 564)	644 (564 ~ 727)	824 (727 ~ 944)	1240 (944 ~ )
2014	702	336 ( ~ 436)	501 (436 ~ 567)	640 (567 ~ 716)	811 (716 ~ 924)	1223 (924 ~ )

表9 年間収入五分位階級、貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高  
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2014年 -

項目	平均	第1階級	第2階級	第3階級	第4階級	第5階級
年間収入	金額(万円)					
	702	336	501	640	811	1223
貯蓄現在高	金額(万円)					
金融機関	1290	658	900	1139	1429	2326
通貨性預貯金	1233	650	884	1100	1357	2176
普通銀行等	308	170	222	279	326	545
郵便貯金銀行	245	127	171	218	251	457
定期性預貯金	64	43	51	60	75	88
普通銀行等	469	263	369	413	544	756
郵便貯金銀行	323	183	241	272	368	552
生命保険など	146	80	128	141	175	204
有価証券	320	185	235	319	362	499
金融機関外	136	32	58	89	126	375
	57	8	16	39	72	151
貯蓄現在高	構成比(%)					
金融機関	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
通貨性預貯金	95.6	98.8	98.2	96.6	95.0	93.6
普通銀行等	23.9	25.8	24.7	24.5	22.8	23.4
郵便貯金銀行	19.0	19.3	19.0	19.1	17.6	19.6
定期性預貯金	5.0	6.5	5.7	5.3	5.2	3.8
普通銀行等	36.4	40.0	41.0	36.3	38.1	32.5
郵便貯金銀行	25.0	27.8	26.8	23.9	25.8	23.7
生命保険など	11.3	12.2	14.2	12.4	12.2	8.8
有価証券	24.8	28.1	26.1	28.0	25.3	21.5
金融機関外	10.5	4.9	6.4	7.8	8.8	16.1
	4.4	1.2	1.8	3.4	5.0	6.5
貯蓄現在高	対前年増減率(%)					
金融機関	3.7	-0.9	6.5	7.4	-2.9	6.9
通貨性預貯金	4.4	-0.8	6.5	8.7	-3.1	8.5
普通銀行等	4.4	-14.1	5.2	12.5	2.2	9.9
郵便貯金銀行	6.1	-12.4	6.2	14.7	2.9	10.1
定期性預貯金	0.0	-20.4	2.0	3.4	0.0	8.6
普通銀行等	4.2	3.1	15.0	5.4	-3.9	5.6
郵便貯金銀行	4.5	11.6	16.4	1.1	-3.2	4.7
生命保険など	3.5	-13.0	13.3	13.7	-5.9	7.9
有価証券	0.0	14.2	-0.8	15.6	-6.9	-6.9
金融機関外	17.2	-17.9	-6.5	-6.3	-0.8	45.9
	-9.5	-20.0	6.7	-20.4	1.4	-11.7
負債現在高	金額(万円)					
住宅・土地のための負債	756	334	662	834	934	1016
住宅・土地以外の負債	710	300	620	786	885	959
月賦・年賦	27	16	25	28	28	38
	19	19	17	20	21	19
負債現在高	構成比(%)					
住宅・土地のための負債	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
住宅・土地以外の負債	93.9	89.8	93.7	94.2	94.8	94.4
月賦・年賦	3.6	4.8	3.8	3.4	3.0	3.7
	2.5	5.7	2.6	2.4	2.2	1.9
負債現在高	対前年増減率(%)					
住宅・土地のための負債	2.2	-13.0	14.3	0.2	3.1	1.9
住宅・土地以外の負債	3.3	-14.5	15.9	0.6	5.6	3.3
月賦・年賦	-22.9	-5.9	-3.8	-6.7	-41.7	-28.3
	5.6	11.8	-5.6	-9.1	5.0	18.8

### 3 勤労者世帯のうち持家世帯の状況

#### (1) 持家世帯のうち住宅ローン返済世帯の負債現在高は1677万円

二人以上の世帯の勤労者世帯のうち持家世帯（勤労者世帯に占める割合75.4%，世帯主の平均年齢50.0歳）について、住宅ローンの有無別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、住宅ローン返済世帯（同38.3%，同45.6歳）は903万円となっており、前年に比べ34万円、3.9%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯（同37.2%，同54.5歳）は2037万円となっており、前年に比べ119万円、6.2%の増加となっている。

負債現在高をみると、住宅ローン返済世帯は1677万円となっており、前年に比べ80万円、5.0%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯は244万円となっており、前年に比べ10万円、4.3%の増加となっている。

（図9，表10）

図9 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高

（二人以上の世帯のうち勤労者世帯） - 2014年 -

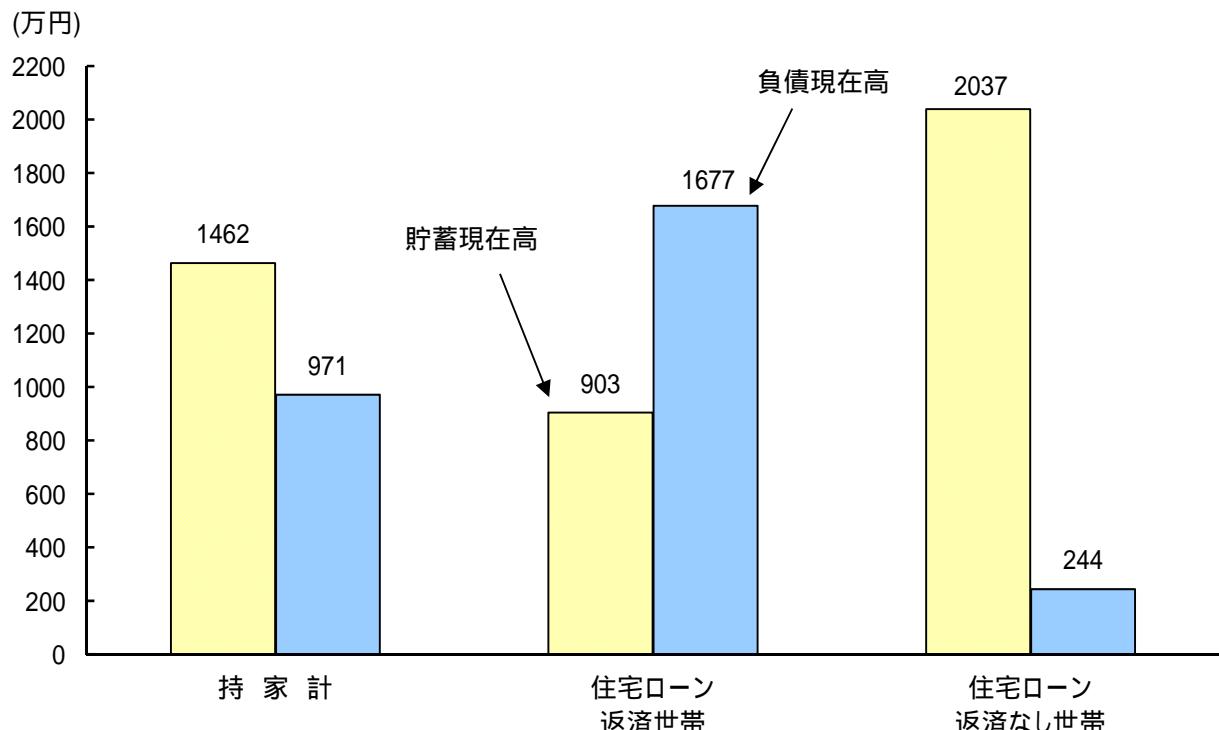


表10 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高の推移

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

年次	金額(万円)			対前年増減率(%)		
	持家計	住宅ローン 返済世帯	住宅ローン 返済なし世帯	持家計	住宅ローン 返済世帯	住宅ローン 返済なし世帯
世帯主の年齢(歳)						
2005年	49.5	46.0	52.7	-	-	-
2006	49.4	45.8	52.9	-	-	-
2007	49.5	45.6	53.1	-	-	-
2008	49.6	45.7	53.3	-	-	-
2009	49.6	45.8	53.5	-	-	-
2010	49.6	46.0	53.4	-	-	-
2011	49.6	45.7	53.7	-	-	-
2012	49.9	45.9	54.2	-	-	-
2013	49.7	45.9	53.9	-	-	-
2014	50.0	45.6	54.5	-	-	-
貯蓄現在高						
2005年	1503	933	2021	1.7	-5.2	1.5
2006	1467	984	1939	-2.4	5.5	-4.1
2007	1436	925	1910	-2.1	-6.0	-1.5
2008	1436	901	1942	0.0	-2.6	1.7
2009	1383	873	1909	-3.7	-3.1	-1.7
2010	1419	861	2011	2.6	-1.4	5.3
2011	1406	875	1963	-0.9	1.6	-2.4
2012	1419	890	1990	0.9	1.7	1.4
2013	1370	869	1918	-3.5	-2.4	-3.6
2014	1462	903	2037	6.7	3.9	6.2
負債現在高						
2005年	848	1560	201	-5.6	0.5	-7.4
2006	848	1500	210	0.0	-3.8	4.5
2007	871	1581	213	2.7	5.4	1.4
2008	854	1547	199	-2.0	-2.2	-6.6
2009	863	1496	210	1.1	-3.3	5.5
2010	914	1573	215	5.9	5.1	2.4
2011	877	1525	197	-4.0	-3.1	-8.4
2012	918	1582	201	4.7	3.7	2.0
2013	946	1597	234	3.1	0.9	16.4
2014	971	1677	244	2.6	5.0	4.3
住宅・土地のための負債						
2005年	788	1487	153	-6.7	0.8	-19.5
2006	795	1431	173	0.9	-3.8	13.1
2007	816	1503	179	2.6	5.0	3.5
2008	801	1475	164	-1.8	-1.9	-8.4
2009	813	1423	184	1.5	-3.5	12.2
2010	861	1496	187	5.9	5.1	1.6
2011	825	1457	162	-4.2	-2.6	-13.4
2012	865	1506	173	4.8	3.4	6.8
2013	888	1515	202	2.7	0.6	16.8
2014	923	1611	215	3.9	6.3	6.4

(2) 持家世帯のうち住宅の建築時期が「2005～2009年」及び「2010～2014年」の世帯は負債現在高が貯蓄現在高を上回っている

二人以上の世帯の勤労者世帯のうち持家世帯について住宅の建築時期別に貯蓄現在高をみると、「2004年以前」(世帯主の平均年齢52.6歳)が1625万円、「2005～2009年」(同45.1歳)が1141万円、「2010～2014年」(同42.1歳)が957万円となっており、住宅の建築時期が新しくなるに従って貯蓄現在高が少なくなっている。

負債現在高をみると、「2004年以前」が656万円、「2005～2009年」が1584万円、「2010～2014年」が1954万円となっており、住宅の建築時期が新しくなるに従って負債現在高が多くなっている。

純貯蓄額をみると、「2010～2014年」、「2005～2009年」は負債現在高が貯蓄現在高をそれぞれ997万円、443万円上回っているのに対し、「2004年以前」では貯蓄現在高が負債現在高を969万円上回っている。

(図10, 表11)

図10 持家世帯の住宅の建築時期別貯蓄・負債現在高

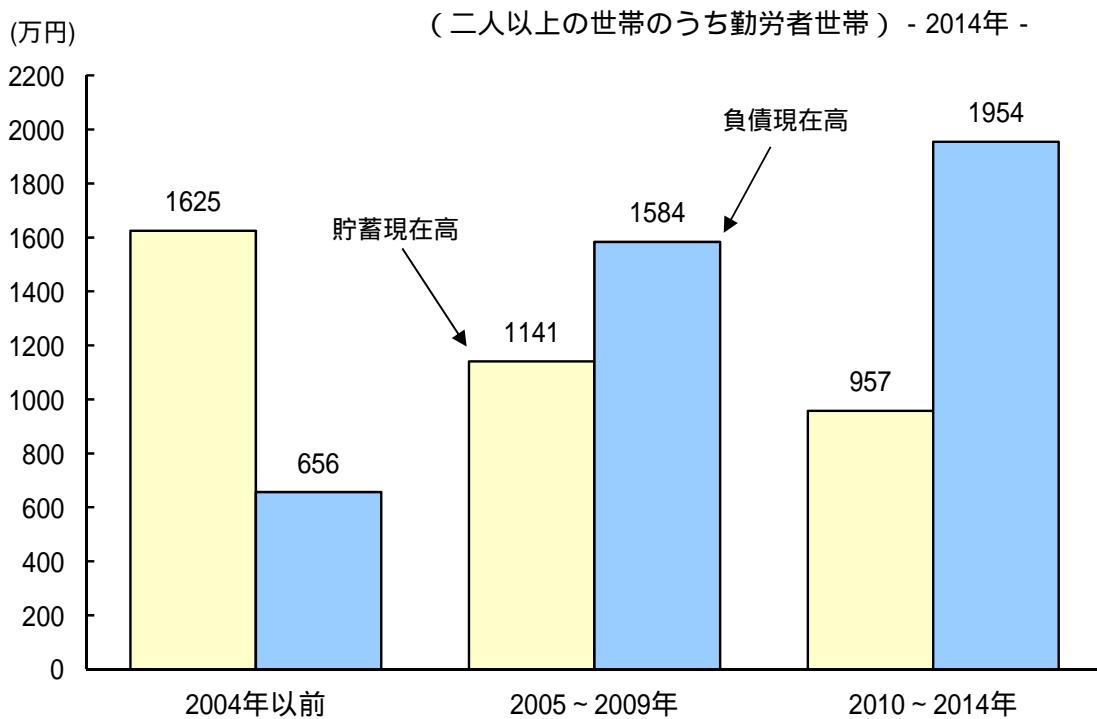


表11 持家世帯の住宅の建築時期別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2014年 -

(万円)

項目	2004年以前	2005～2009年	2010～2014年
世帯主の年齢(歳)	52.6	45.1	42.1
貯蓄現在高	1625	1141	957
負債現在高	656	1584	1954
住宅・土地のための負債	609	1535	1909
純貯蓄額 (貯蓄現在高 - 負債現在高)	969	-443	-997

マイナスは、負債超過額を示す。

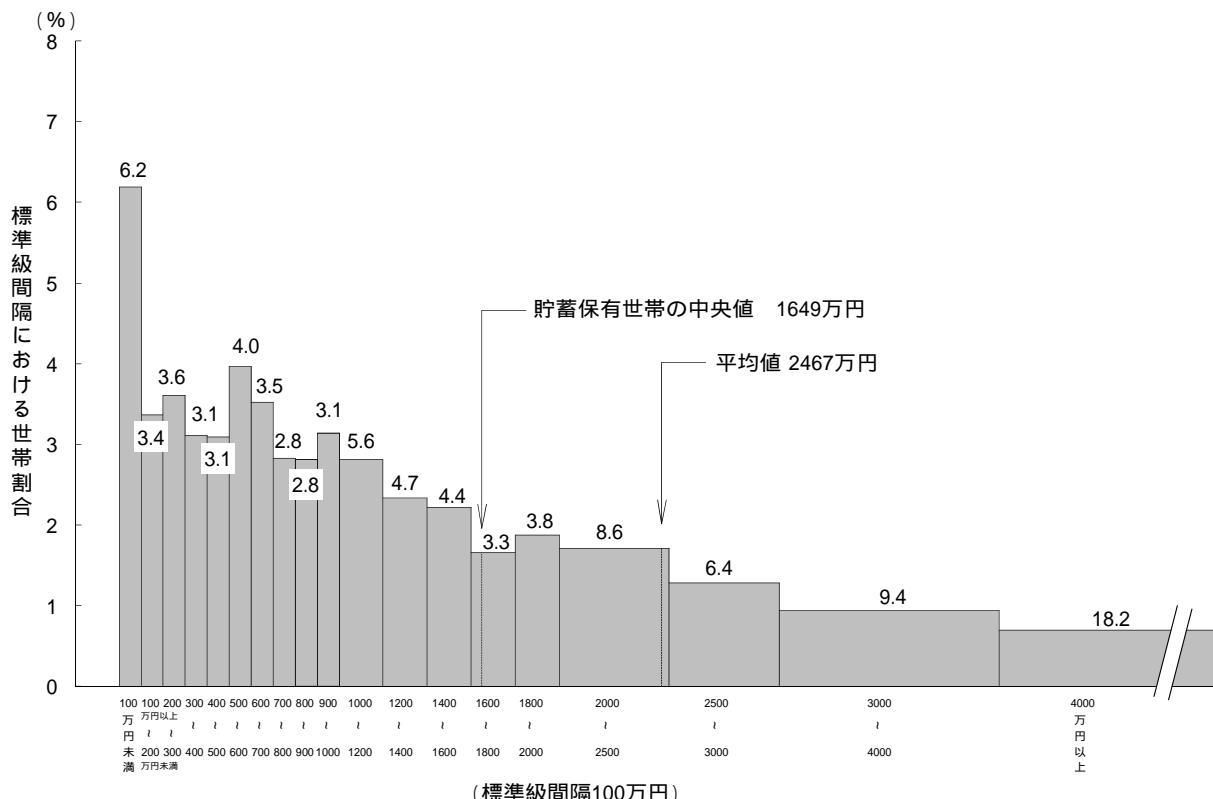
## 4 高齢者世帯の状況

### (1) 世帯主が60歳以上の世帯では貯蓄現在高が2500万円以上の世帯が約3分の1を占める

二人以上の世帯のうち世帯主が60歳以上の世帯（二人以上の世帯に占める割合50.2%）について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、二人以上の世帯全体では貯蓄現在高の低い階級に偏っているが、世帯主が60歳以上の世帯では貯蓄現在高が高い階級へも広がった分布となっている。そのうち2500万円以上の世帯は全体の約3分の1（34.0%）を占めており、二人以上の世帯全体における2500万円以上の世帯の割合（22.5%）の約1.5倍となっている。

（図1、図11、表12）

図11 世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯） - 2014年 -



注) 標準級間隔100万円（1000万円未満）の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

表12 貯蓄現在高階級別世帯分布（二人以上の世帯） - 2014年 -

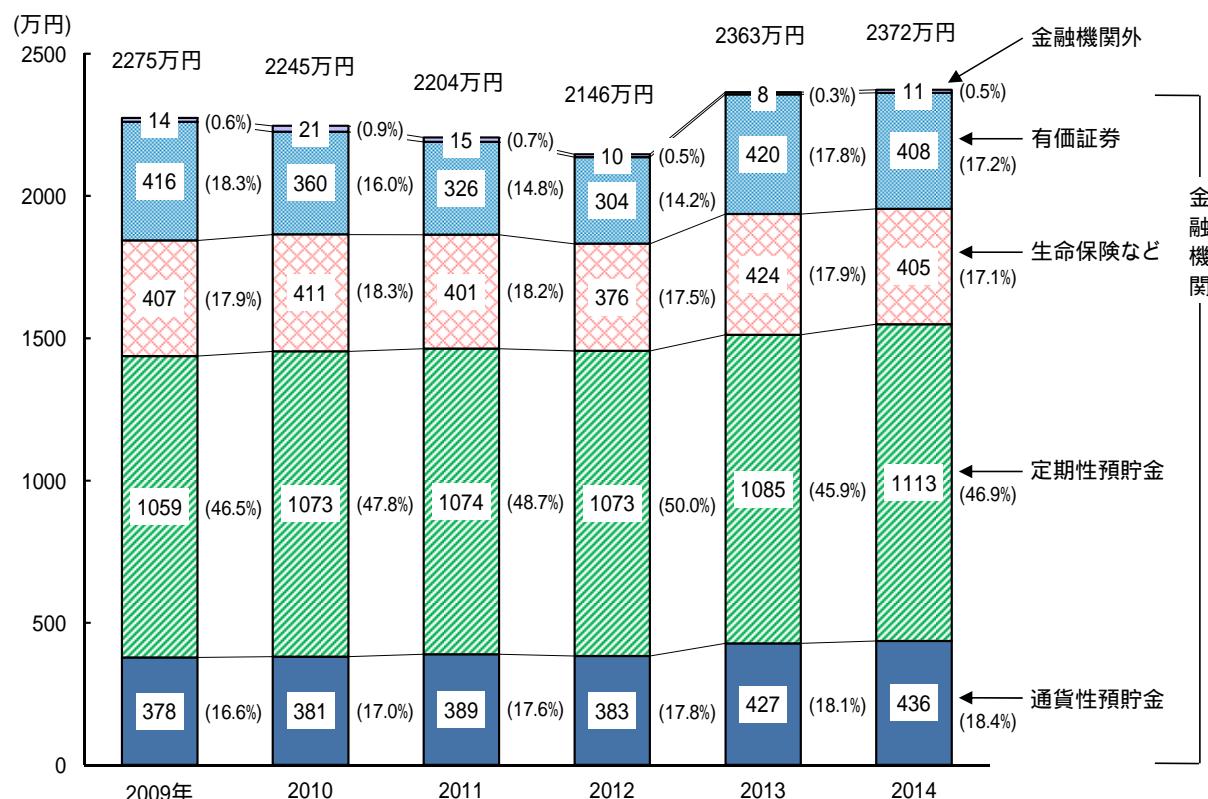
	400万円未満	400万円以上～2500万円未満	2500万円以上
二人以上の世帯	27.0	50.5	22.5
うち世帯主が60歳以上の世帯	16.3	49.8	34.0
世帯分布の差(ポイント)( - )	-10.7	-0.7	11.5
世帯分布の比( / )	0.60	0.99	1.51

(2) 世帯主が60歳以上で無職の世帯の定期性預貯金は1113万円で、前年に比べ28万円、2.6%の増加  
 二人以上の世帯のうち世帯主が60歳以上で無職の世帯（高齢無職世帯、二人以上の世帯に占める割合31.7%）の1世帯当たり貯蓄現在高は2372万円で、前年に比べ9万円、0.4%の増加となっている。

貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が1113万円と最も多く、次いで、通貨性預貯金が436万円、有価証券が408万円、「生命保険など」が405万円、金融機関外が11万円となっている。また、2013年と比べると、定期性預貯金が28万円、2.6%の増加、通貨性預貯金が9万円、2.1%の増加などとなっている。

（図12、表13）

図12 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）



注) ( )内は、貯蓄現在高に占める割合

表 13 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

	貯蓄現在高	金融機関					金融機関外
			通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券	
金額(万円)							
2005年	2438	2420	341	1174	472	434	18
2006	2404	2387	376	1116	459	436	18
2007	2398	2385	394	1083	428	480	13
2008	2366	2354	378	1083	417	475	12
2009	2275	2261	378	1059	407	416	14
2010	2245	2224	381	1073	411	360	21
2011	2204	2189	389	1074	401	326	15
2012	2146	2136	383	1073	376	304	10
2013	2363	2356	427	1085	424	420	8
2014	2372	2362	436	1113	405	408	11
構成比(%)							
2005年	100.0	99.3	14.0	48.2	19.4	17.8	0.7
2006	100.0	99.3	15.6	46.4	19.1	18.1	0.7
2007	100.0	99.5	16.4	45.2	17.8	20.0	0.5
2008	100.0	99.5	16.0	45.8	17.6	20.1	0.5
2009	100.0	99.4	16.6	46.5	17.9	18.3	0.6
2010	100.0	99.1	17.0	47.8	18.3	16.0	0.9
2011	100.0	99.3	17.6	48.7	18.2	14.8	0.7
2012	100.0	99.5	17.8	50.0	17.5	14.2	0.5
2013	100.0	99.7	18.1	45.9	17.9	17.8	0.3
2014	100.0	99.6	18.4	46.9	17.1	17.2	0.5
対前年増減率(%)							
2005年	2.4	2.5	1.2	-1.8	-3.1	26.9	-5.3
2006	-1.4	-1.4	10.3	-4.9	-2.8	0.5	0.0
2007	-0.2	-0.1	4.8	-3.0	-6.8	10.1	-27.8
2008	-1.3	-1.3	-4.1	0.0	-2.6	-1.0	-7.7
2009	-3.8	-4.0	0.0	-2.2	-2.4	-12.4	16.7
2010	-1.3	-1.6	0.8	1.3	1.0	-13.5	50.0
2011	-1.8	-1.6	2.1	0.1	-2.4	-9.4	-28.6
2012	-2.6	-2.4	-1.5	-0.1	-6.2	-6.7	-33.3
2013	10.1	10.3	11.5	1.1	12.8	38.2	-20.0
2014	0.4	0.3	2.1	2.6	-4.5	-2.9	37.5

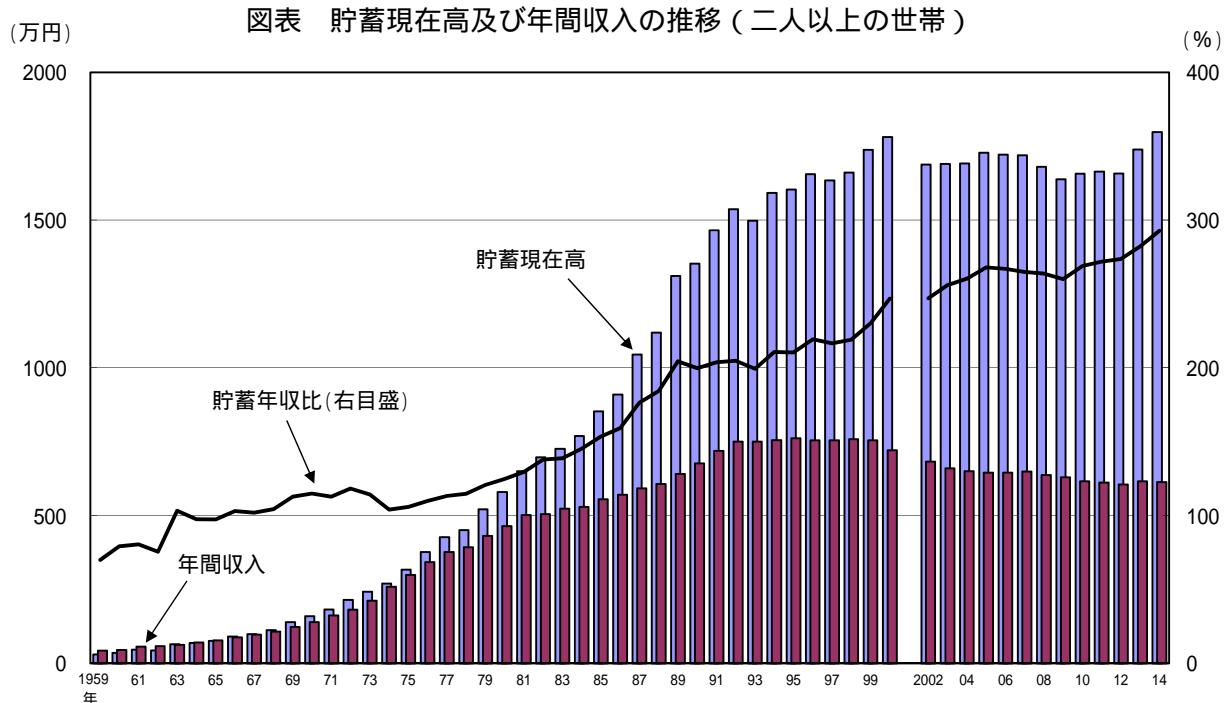
# 長期時系列

<二人以上の世帯の貯蓄の推移>

貯蓄現在高の年間収入に対する比は約半世紀の間に4.2倍に上昇

二人以上の世帯について1世帯当たり貯蓄現在高の最近の推移をみると、リーマンショック後、2010年、2011年と増加したあと、2012年は再び減少となったが、2013年、2014年では連続で増加となった。2014年(1798万円)の水準は約半世紀前の1959年(30万円)の59.9倍となっている。また、貯蓄年収比(貯蓄現在高の年間収入に対する比)の推移をみると、2010年以降は上昇し、2014年(292.8%)の水準は1959年(70.0%)の4.2倍となっている。

(図表)



注) 2000年以前は、「貯蓄動向調査」結果による。

貯蓄動向調査：家計調査の附帯調査として2000年まで毎年12月31日現在で実施。

家計調査とは、調査時期、調査対象世帯数等が異なる。

貯蓄・負債編としての調査は、1年の準備期間の後、2002年から実施。